



平田 要

前立腺がん

早期発見のため

- 一、前立腺がん早期発見のため
- 二、町行政の脱ハンコの取組み
- 三、奨励品種米の品質低下

で約83%の市町村で行われていない。検診の機会を設けることについて問う。

起こることの無いよう十分注意し対応していく。

問 集団検診時等で、血液検査と合わせ希望される方に、前立腺がん検査（PSA）を新たに追加して、行うことについて問う。

答 近隣の状況、国の指針、府の状況等を考え検討していく。

町行政の脱ハンコの取組み

問 国の指針に基づき、がん検診を実施している。前立腺がん検診（PSA）は、国の指針において、検診による有益性が確認されていないため、対策型検診として実施していない。

問 国の動きから、町は申請書類等において、どのように見直しをしたか問う。

答 2021年通常国会において、一括法の審議が予定されている。押印見直しに向け、順次取り組みを進めている。

問 近隣市で前立腺がん検査（PSA）が行われている。住民の立場になって再度問う。

問 脱ハンコとともに、デジタル化が進化する中、デジタル化環境を持たない方への、取組みを問う。

答 行政内部の事務の効率化を図っていくことを目的としている。不便が

問 全国では、住民健診

答 公共が予防対策として実施すべきものには、位置づけされていない。



奨励品種米の品質低下

問 高温障害に強い新種の研究開発及び奨励品種の追加について問う。

答 府：JA大阪北部で認識されている。高温耐性品種への切り替えは一足飛びに行くものでなく、状況を注視し検討が進められると考えている。

一般質問



太田 祐介

新型コロナウイルス

感染症対策

- 一、新型コロナウイルス感染症対策
- 二、地域産業の活性化・育成
- 三、スクールバスの運用

問 町の支援制度にはどのようなものがあつたか。

答 新生児向けの給付金の支給や水道料金の減免、学校給食費の無償化、休業補償支援など多岐にわたる方策を講じた。

地域産業の活性化・育成

問 行政の業務の発注について、町内業者への振興策はあるのか。

答 一般的には入札で公平に競争をしていたため、需給機会を拡大するため、入札に参加していただける町内業者を優先して選定している。例外的には、一定の金額以下であれば随意契約でというような場合もある。

問 獣害対策について、能勢に生息する鹿・猪のおおよその頭数はどれくらいか。

答 能勢町では千数百頭生息していると推測されるが、感覚的にはもっと多い。

問 大阪府の獣害対策の担当部署も腰が重い印象である。

答 能勢町では千数百頭生息していると推測されるが、感覚的にはもっと多い。

問 スクールバスの運用

答 登校便は約90%、利用対象範囲の拡大は難しい。夏季暑さ対策は、帽子の着用、水分補給等を適切に行うよう学校と家

スクールバスの運用

問 登校便は約90%、利用対象範囲の拡大は難しい。夏季暑さ対策は、帽子の着用、水分補給等を適切に行うよう学校と家

